

看護協会ニュース8月号(2008)

2009年のNHK大河ドラマ『天地人』の舞台となる山形県米沢市。市内のいたるところには、早くも織(のぼり)が立てられ、日に日にムードが盛り上がっている。主人公となる直江兼統が仕えた上杉家の藩祖・謙信公を祭神とする上杉神社から歩いて10分ほどのところに、財団法人三友堂病院はある。創設は明治19(1886)年と古く、地域から信頼される医療機関として120年を超える歴史を連綿と刻んできた。

残業減り、ベッドサイドでのケアが増える

「医師と看護師は車の両輪。すべての職種が一体にならないと質の高い医療は提供できないが、東北地方は慢性的な看護師不足」と、全日本病院協会山形県支部長も務める仁科盛之病院

長。病棟の多忙さも承知している。スタッフを増やして十分なケアをさせたい思いもあり、柔軟に働きやすい環境にしようとして2008年4月から短時間正職員制度を導入した。「子育ての期間は短時間、落ち着いたらフルタイムに戻ってもらえればいい。パート職員は退職金などで不利益になる。それだけはしたくなかった」。

同制度を利用する職員は10人。4人がパートからの移行で、新規採用は6人だ。築川(やながわ)陽子さんもそのひとり。パートの訪問看護師として働いていたが、在宅と臨床との連携を肌で感じたいと同院の門をたたき、現在は9～14時の5時間を週5日勤務する。前職と比較し勤務時間が短いため収入は多少減るが、福利厚生などの身分保障はされる。家族も賛成



4月から短時間正職員として働く築川さん(右)。将来的には、フルタイムでの勤務も検討している

看護職の ワーク・ライフ・バランス



現場からのレポート

No.5

財団法人 三友堂病院の場合

してくれた。そして何よりも「子どもが小学校から帰ってくる時間に家にいられることがうれしい」と顔をほころばせる。臨床現場に戻って4カ月。在宅との違いに戸惑いもあるが、将来的にはフルタイムで働くことも考えている。

短時間正職員がいることで病棟はどう変わるのだろうか。高橋啓子師長は「築川さんともうひとり短時間勤務(9～16時)の正職員がいます。日勤の人数が2人増えることで、他のスタッフの残業時間も減っています。それぞれ受け持ちの患者さんがいますが、勤務時間以降はリーダーに引き継ぐようにしているので、問題ありません」と語る。他部署の協力も大きいという。「採血などは検査部が担当してくれるので業務に余裕が出て、『ベッドサイドでのケア

の時間が増えた」との声が上がっています。

やりがい引き出し、優秀なスタッフを確保

制度導入の効果が徐々に表れている背景には、管理職の苦勞もある。「経営側には、パートの正職員転換は人件費増ですが、職員のやりがいを引き出したり、優秀なスタッフを確保できるなど将来的にはメリットになります」と田林義則人事企画部長。在院日数が短くなった時の人員確保が今後の課題とも。浅野弥恵子副看護部長も「院長の制度導入の決定に当初は不安もありました。シフト表の管理や教育体制など、師長たちが制度を理解し受け入れてくれたことが心強かった。今では、各病棟に1～2人の短時間正職員がいます」と話す。課題である夜勤

の人員確保のために、夜勤専従や夜勤帯で短時間正職員制度の導入を考えたいと意欲的だ。

短時間正職員制度がスタートして4カ月。フルタイム正職員が、家族の介護のために短時間への転換を希望するケースも出てきた。三友堂病院の新たなチャレンジは、看護部だけでなく組織が一丸になることで、初めて働きやすい職場が生まれるということを示している。

ナースセンター実績(7月分)

- 有効求人倍率 / 2.35倍
- 有効求人数 / 64,068人
- 有効求職数 / 27,245人

三友堂病院 山形県米沢市

- 病 床 数 / 190床
- 入院基本料 / 10対1
- 看護職員数 / 正 規 (看115人 准16人)
非正規 (看8人 准3人)
- 平均年齢 / 35歳
- 離 職 率 / 16.7%(2006年度) 12.6%(07年度)